

令和7年8月20日

市政記者各位

福岡市美術館

特別展「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」 コレクション展（古美術）「大名の美術」「異国へのまなざし」開催

福岡市美術館では、10月11日より特別展「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」を開催いたします。展覧会期間中には、トークイベント等も開催します。

また、コレクション展（古美術）の展示として、「大名の美術」、「異国へのまなざし」を開催いたします。つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしく願いいたします。

特別展

珠玉の近代絵画-「南国」を描く。

明治以降、多くの美術家が陽光きらめく暖かな「南」へ向かいます。美術家たちは、そこで得た新鮮な体験をどのように表現したのでしょうか。描かれた「南」約200点を通して、近代日本の知られざる美術の魅力を紹介します。また、関連企画展示として「『北』へのまなざし」（9月2日～12月21日）、「異国へのまなざし」（10月28日～1月18日）をコレクション展示室（近現代美術・古美術）にて開催します。



荒井寛方《薫風》1919年
さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-所蔵

会期	令和7年10月11日（土）～11月24日（月・休） 前期：10月11日（土）～11月9日（日） 後期：11月11日（火）～11月24日（月・休）
会場	2階 特別展示室
観覧料	一般1,500円 高大生1,000円 中学生以下無料

関連イベント

ギャラリー・トーク「絵で見る南国の植物」

福岡市植物園の花と緑の調査・相談専門員に、描かれた南国の植物についてお話をうかがいながら、作品の魅力に迫ります。

日時	【1回目】10月25日（土）、【2回目】11月8日（土） 午後1時30分（約30分）
会場	2階 特別展示室 展覧会場内
講師	福岡市植物園 二又徳子氏

※聴講には展覧会観覧券が必要です。（事前予約不要）

関連イベント

つきなみ講座「展覧会の見どころ紹介」

近代には、多くの作家が台湾や東南アジア、南洋諸島、インドへと向かい、そこでの取材をもとに様々な作品を制作しました。その諸相を紹介する展覧会の見どころを2回にわたりお話しします。

日時	【1回目】 10月18日(土) 午後3時~4時 【2回目】 11月8日(土) 午前11時~12時 開場：各開始時間の30分前
会場	1階 レクチャールーム
定員	各回54名（聴講無料、事前申込不要、先着順）
講師	【1回目】 ラワンチャイケン寿子（当館学芸員） 【2回目】 花田珠可子（当館学芸員）

コレクション展
(古美術)

大名の美術

当館に収蔵される黒田資料、松永コレクション等の中から、小堀遠州をはじめとする大名茶人たちにまつわる美術品に焦点を当てます。

会期	令和7年10月21日(火) ~ 12月14日(日)
会場	1階コレクション展示室 古美術企画展示室
観覧料	一般200円、高大生150円、中学生以下無料 ※特別展会期中(～11月24日)「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」チケットにてご観覧いただけます。



《唐物茶入 銘「博多文琳」》
中国・明時代 15～16世紀

コレクション展
(古美術)

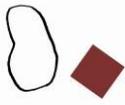
異国へのまなざし

近代以前の日本の人びとは異国をどのようにとらえていたのでしょうか。異国で作られた茶道具や、異国の様子を描いた絵画などを通して探ります。本展は、特別展「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」(10月11日～11月24日)の関連企画展示です。

会期	令和7年10月28日(火) ~ 令和8年1月18日(日)
会場	1階コレクション展示室 松永記念館室
観覧料	一般200円、高大生150円、中学生以下無料 ※特別展会期中(～11月24日)「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」チケットにてご観覧いただけます。



《莨葉文水指》オランダ・17世紀



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

PRESS RELEASE

FaN
Fukuoka Art Next

共通	開館時間	午前9時30分～午後5時30分 (7月～10月の金・土曜日は午前9時30分～午後8時) ※入館は閉館の30分前まで
	休館日	毎週月曜日、年末年始(12月28日～1月4日) 10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火)、1月13日(火) ※10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)、11月24日(月・休)、1月12日(月・祝)は開館
	観覧料	【コレクション展】 一般200円、高大生150円、中学生以下無料 ※特別展会期中(～11月24日)「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」 チケットにてご観覧いただけます。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 (担当: ラワン・忠・花田・後藤・宮田)
TEL: 092-714-6051

「南国」を描く。

珠玉の近代絵画

自分だけの新しい主題と表現を探して
海をわたり、光かがやく南へ向かった日本人画家たちの航跡を追う

Visions of the South: Japanese Modern Paintings, 1900s-1970s

2025 10.11_土 - 11.24_{月休}

Oct. 11 (Sat.) - Nov. 24 (Mon.), 2025 ※会期中、一部展示替えがあります
福岡市美術館 2階 特別展示室

開館時間 / 9時30分～17時30分(10月の金・土曜日は9時30分～20時) ※展示室への入場は閉館30分前まで。
休館日 / 月曜日(但し10月13日、11月3日と24日は開館し、翌火曜日休館)
主催 / 特別展「珠玉の近代絵画—「南国」を描く。」実行委員会(福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス)
特別協力 / 東京国立近代美術館



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

FaN
Fukuoka Art Next



石崎光瑠《熱国新春》1918年 京都国立近代美術館所蔵



日本人の近世までの南に対する認識は、限られた人だけがわずかな情報から得た、多分に想像の入り混じるものでした。その認識を大きく変えたのが、近代です。本展では、明治以降の画家たちが公的な要請や私的な目的で南へ向かい、近世までは偏った知識や想像の中にあつた南をあらためて発見し、それぞれの「南国」イメージを築いた様相をたどります。

珠玉の近代絵画 「南国」を描く。

明治以降、日本の画家たちは煌めく陽光、紺碧の海と空、緑濃い森、異なる風景風俗を追い求めて南へと向かう。彼らが夢み、探しあてた「南国」とは？。光と影が交錯する近代日本の美術を、「南」という視点から問う初めての展覧会



山田東洋《サボテン》1935年頃 郭江宋氏所蔵



藤田綱治《客人(糸満)》1938年 公益財団法人平野政吉美術財団所蔵 © Fondation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G3927



吉田博《タジマハルの朝霧第五》1932年 福岡市美術館所蔵



荒井寛方《蕉風》1919年 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-所蔵



桐谷洗麟《涼園》(部分) 1917年 深見實夫氏所蔵

Events 関連事業

01 ギャラリー・トーク

絵で見る南国の植物

講師：二又徳子氏(福岡市植物園)×担当学芸員

会場：展覧会場内

日時：[1回目]10月25日(土)・[2回目]11月8日(土)

時間：13時30分(約30分)

※聴講には展覧会観覧券が必要です。

開始5分前に展示室入口前にお集まりください。

02 つきなみ講座

展覧会の見どころ紹介

会場：1階レクチャールーム

定員54人(先着順) 聴講無料

日時：[1回目]10月18日(土)15時-16時

ラウンチャイケン寿子

[2回目]11月8日(土)11時-12時

花田珠可子

展示替えのお知らせ 前期：10月11日(土)-11月9日(日)／後期：11月11日(火)-11月24日(月・休)

※チラシ掲載の作品は通期展示となります。

●観覧料／一般1,500円(1,400円)、高大生1,000円(900円)、中学生以下無料

※()内は前売り、20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料

見どころ・01

伊豆大島に志摩の波切、沖縄、台湾、南洋諸島、東南アジア、インドを描いた作品が一堂に会します。

見どころ・02

横山大観、橋本関雪、藤田嗣治、坂本繁二郎、赤松俊子(丸木俊)、横尾忠則ら総数58作家225件のボリュームで、明治から昭和の日本人作家が歩んだアジアを巡ります。

03 関連企画展示

※本展会期中に限り、本展チケットでご観覧いただけます。

「北」へのまなざし

会場：2階コレクション展示室(近現代美術室A)

会期：9月2日(火)-12月21日(日)

異国へのまなざし

会場：1階コレクション展示室(松永記念館室)

会期：10月28日(火)-2026年1月18日(日)



福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL:092-714-6051(代表) FAX:092-714-6071

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

ACCESS

地下鉄 空港線「大濠公園駅」下車、徒歩10分

七隈線「六本松駅」下車、徒歩10分

西鉄バス 「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分

「赤坂三丁目」下車、徒歩5分

「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分

車 福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分

※福岡市美術館専用駐車場有(有料:200円/時間)

※週末、祝日等は大変混みます。公共の交通機関をご利用ください。



珠玉の近代絵画―「南国」を描く
2025年10月11日(土)～2025年11月24日(月・休)
福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託:西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail :press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

- ・下記リストからご希望の作品にチェックをつけてください(作品イメージに関しては裏面をご参照ください)。
 - ・本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
 - ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には、指定するキャプション・クレジットを必ずご掲載ください。
- 複数点掲載の場合、重複する情報は省略可能な場合がございます。掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。
- ・作品画像は良識の範囲内でトリミングいただけます。ただし必ず校正紙の確認を行い、許可を得たものをご掲載ください。
 - ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌、または同録DVDを当館宛に1部ご送付ください。

希望	作品NO	画像キャプション・クレジット
<input type="checkbox"/>	1	石崎光瑤《熱国妍春》1918年 京都国立近代美術館所蔵
<input type="checkbox"/>	2	山田東洋《サボテン》1935年頃 郭江宋氏所蔵
<input type="checkbox"/>	3	吉田博《タジマハルの朝霧第五》1932年 福岡市美術館所蔵
<input type="checkbox"/>	4	荒井寛方《薫風》1919年 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-所蔵
<input type="checkbox"/>	5	チラシ表紙-1
<input type="checkbox"/>	6	チラシ表紙-2
<input type="checkbox"/>	7	

ご住所	〒		
貴社名			ご所属
ご担当者名			
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
貴媒体名	(発行部数 部)		
掲載号/発売予定日	月号/月日号 (月 日発売)		
素材締切日 最終校了日	素材締切日 (月 日) / 最終校了日 (月 日)		

珠玉の近代絵画―「南国」を描く
2025年10月11日(土)～2025年11月24日(月・休)
福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託:西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail: press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

①石崎光瑤《熱国妍春》1918年 京都国立近代美術館所蔵



※1枚のみ使用はNG

※上下掲載は上記の通り。左右掲載は上段画像が向かって右

②山田東洋《サボテン》1935年頃 郭江宋氏所蔵



③吉田博《タジマハルの朝霧第五》1932年 福岡市美術館所蔵



④荒井寛方《薫風》1919年 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-所蔵



⑤チラシ表紙-1



⑥チラシ表紙-2

